

平成25年第1回花卷市議会定例会

教育委員会委員長演述

花卷市教育委員会

平成25年第1回花巻市議会定例会にあたり、教育委員会の主要な施策についてご説明申し上げ、ご理解を賜りたいと存じます。

本市の教育の振興につきましては、これまで、議員各位をはじめ、学校、保護者、地域の方々など多くの関係者のご努力によりまして、子どもたちの健やかな成長が育まれてきましたことに心から感謝を申し上げます。

教育委員会では、将来を担う人材を育むという教育の役割の重要性を十分に認識し、各般にわたる施策を積極的に展開することとしております。また、復興教育につきましては、全県下で「いわての復興教育」として取り組んでおりますことから、本市の各小中学校におきましても、引き続き教育目標の実現に向けた教育活動全般に「復興教育の視点」を取り入れて進めてまいります。

以下、平成25年度における施策の概要について申し上げます。

まず、就学前教育の充実についてであります。

就学前の乳幼児期は、人格形成の基礎を培う極めて重要な時期であることから、家庭はもちろん、保育園、幼稚園、小学校、地域それぞれの教育力を高め連携を図りながら、基本的な生活習慣を身につけた「元気な子ども」、身の回りの環境や人との関わりを持ちながら活動できる「やさしい子ども」、経験をもとによく考えて行動できる「考える子ども」の育成を目指した花巻市就学前教育プログラムを推進してまいります。

家庭における教育力向上支援につきましては、乳幼児期における育ちについての情報を集めた「ニコニコガイド」の配付、広報はなまきへの子育て情報の掲載、「子育て講演会」の開催など、子育てに参考となる情報を発信するとともに、保育園や幼稚園での相談対応を充実させてまいります。また、基本的な生活習慣の確立と自立心の育成に向けた「ニコニコチャレンジ」の取り組みについては、対象の拡大を図るとともに、実態に合わせて項目を工夫するなど、さらなる推進を図ってまいります。

保幼小の連携推進につきましては、市内全ての保育園、幼稚園、小学校が一体となって相互理解を深めながら「接続期のカリキュラム」を活用し、小学校での学習や生活面などにおいて、着実に成果が表れてきておりますが、新たに少人数の保育園の園児が、他園の園児と交流し集団活動を体験する「ニコニコ交流事業」を実施し、小学校へのスムーズな接続のための取り組みを進めてまいります。

また、特別な支援を要する乳幼児については、「幼児ことばの教室」等により個々の実態に即した支援に取り組むとともに、幼稚園への就園の奨励と、私立幼稚園の特色ある幼児教育及び保育に関する事業を支援してまいります。

地域の教育力向上につきましては、保育園や幼稚園、学校と地域の相互の人材活用、相談対応、学習機会の充実を図るとともに、コミュニティ会議や教育振興運動推進協議会等と連携し、子どもや子

育てに多くの人が関心を持ち、地域全体で子どもを守り、支え、育てていこうという意識を高め、子育てしやすい環境整備に努めてまいります。

次に、学校教育の充実についてであります。

平成24年度の本市児童生徒の状況であります。学力面の着実な向上、スポーツや文化活動における活躍はもとより、不登校や問題行動の減少等、様々な成果を得ることができました。

引き続き、特別に支援を必要とする児童生徒への適切な支援、いじめや不登校への適時適切な対応、学校内外の安全対策、保護者との信頼関係づくり等に取り組み、児童生徒の健全育成を図ってまいります。

学力の向上につきましては、児童生徒一人ひとりの基礎・基本の定着度を把握し、よくわかる授業を提供して、基礎・基本の定着を図るとともに、思考力、判断力、表現力の育成と児童生徒の主体的な学習意欲の向上を目指します。

よくわかる授業づくりのため、花巻市教育研究所事業の展開により教員の教科指導力の向上を図るとともに、高い教科指導力を有する外部講師を活用した「学力向上推進事業」や各校がそれぞれの教育課題に取り組む「授業実践公開研究会」等の実践的研修を進めるほか、「はなまき授業サポーター」を配置し、少人数指導によるきめ細かな指導を推進してまいります。

体力の向上につきましては、体力・運動能力の実態把握をするとともに、個々の能力や適性に応じた体育の授業の工夫や業間を利用した体力づくり等を推進します。また、保護者や地域の協力を得ながら、子どもたちがスポーツに意欲的に取り組める環境づくりの推進、食育指導などの健康教育の充実を図ります。

豊かな人間性の育成につきましては、人を思いやる心や感動する心を育むため、道徳教育を学校の教育活動全体で計画的に実施するとともに、体験活動を生かした授業の展開、魅力的な教材開発や活用等により、心に響く道徳教育の充実を図ります。

また、地域社会や児童生徒の特性を生かした体験活動を通じて、自ら学び自ら考える力や豊かな人間性など「生きる力」を育む「地域体験型学習事業」や、国際社会に主体的に対応できる人材の育成を目指す「国際化教育推進事業」等の実施により、子どもたちの夢と志を育む教育を推進します。

特別支援教育につきましては、一人ひとりのニーズに応じた支援のあり方と学校における受入体制の整備が重要であることから、教育相談体制と就学指導の充実を図るとともに、「ふれあい共育推進員」を各学校の実情に応じて配置し、児童生徒の学習と生活を支援してまいります。

学校適応支援につきましては、教育相談員による専門的な相談の

ほか、学校の対応だけでは解決が困難な場合は、生徒支援員を該当校へ配置し、児童生徒に直接的な支援を行うとともに、適応指導教室での指導を通して学校復帰に結びつけるなど、保護者の理解と協力を得ながら、不登校の解消を図ってまいります。

いじめの問題につきましては、日ごろから丁寧に児童生徒の理解を進め、いじめに至る前兆の段階での早期発見に努め、発見した場合は教師個人で判断せず、学校全体で組織的に対応するとともに、教育委員会も早い段階から支援を行い、早期解決を図ってまいります。また、子どもたちが自らの力で学校からいじめをなくすことができるよう、児童会及び生徒会活動を通じて働きかけるとともに、児童生徒同士の心の結びつきを深め、社会性を育む教育活動を進めて、困難に打ち勝つ逞しい子どもの育成に取り組んでまいります。

地域に開かれた学校づくりにつきましては、児童生徒の健やかな成長には、学校、家庭、地域が協働し相互に連携し合うことが重要であることから、学校評議員制度を一層活用し、学校運営への保護者や地域住民の意見を反映させるほか、教育振興運動推進協議会や花巻市PTA連合会との連携により教育活動を推進してまいります。

また、「生徒会ボランティア活動支援事業」により、生徒が自ら計画、実行する社会参画活動を支援し、地域社会の一員として積極的に地域と関わりを持ち、よりよいまちづくりに参画する意識づくりを推進してまいります。

子どもの安全の確保につきましては、スクールガードやPTA、地域の方々のご協力をいただき、見守りと情報の共有により取り組んできたところであります。学校において、児童生徒の安全の確保は、最も優先されなければならないということを強く認識し、安全指導體制の強化に努めるとともに、「自らが危険を予測し、危険を回避する行動ができる児童生徒の育成」をねらいとした安全教育の一層の充実を図ってまいります。

教育環境の整備充実につきましては、安全・安心で質の高い教育環境の整備充実のため、平成23年度から実施しているトイレ洋式化事業は、小学校高学年用トイレの洋式化を進めてまいります。

また、東日本大震災で天井材や照明器具の落下など、非構造部材の耐震化の重要性が認識されたことから、非構造部材の耐震化調査を実施し、今後の事業化に向けて取り組んでまいります。

学区の再編につきましては、さらなる児童生徒数の減少について市民の皆様にご理解いただく努力をしながら、児童生徒にとって望ましい教育環境の確保のため、市全体として将来を見通した学校統合や学区再編について継続して検討を進めてまいります。

次に、文化財の保護と活用についてであります。

本市は、有形・無形の国指定重要文化財をはじめ、県指定や市指定の貴重な文化財を数多く有しております。これらを市民共有の財

産として大切に保存するとともに、各種講座やガイドブック、説明板や標柱の整備等を通じて、広く市民の皆様を紹介し、地域の宝として保護、活用を図ってまいります。

また、平成25年度は、県営土地改良事業に伴う遺跡の緊急発掘調査に着手するとともに、被災地支援として、陸前高田市からの依頼により、同市の出土遺物の整理作業を実施いたします。

民俗芸能につきましては、ユネスコ無形文化遺産の早池峰神楽をはじめとして、本市の民俗芸能が盛んに伝承され、地域文化の振興に繋がるよう、郷土芸能鑑賞会や青少年郷土芸能フェスティバルの開催、各種芸能発表会等を通じて、市民の理解を深め、後継者の育成と定着を支援してまいります。

博物館の運営につきましては、平成25年度特別展として、夏には世界的に有名な葛飾北斎の代表作の一つである「北斎漫画展」を、秋には岩手日報社との共催により影絵の第一人者である「藤城清治光と影展」を開催してまいります。

以上、平成25年度の施策の概要について申し上げましたが、今後とも開かれた教育行政を推進し、本市の教育がより一層充実、発展するよう、これらの施策を着実に実施してまいりたいと存じます。

議員の皆様並びに市民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。